

「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラム

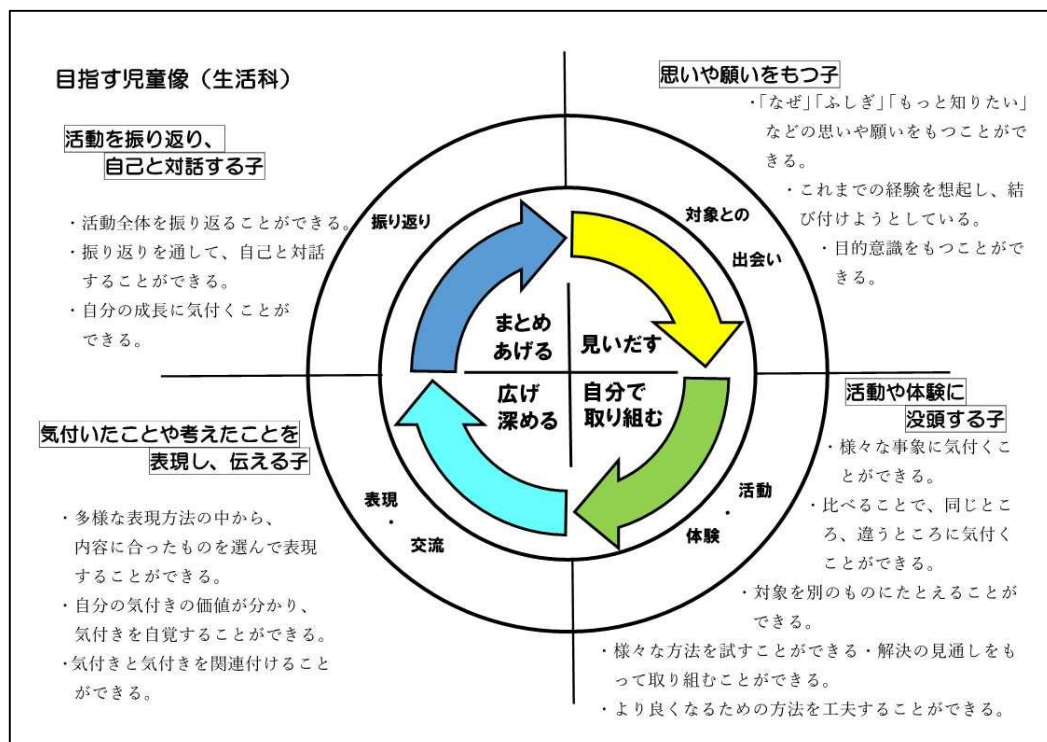


を活用した学習の事例（指導案等）



概 要	
学年・教科・単元等	小学校2年生・生活科・春はっけん
活用方法	生活科学習における本校のめざす児童像を、『思考し、表現する力』を高める実践モデルプログラム』と関連付けた表に位置付けた。単元全体を通してめざす場合と一単位時間内にめざす場合を柔軟に活用することとしているが、本時では、一単位時間内で活用している。
成果等	<p>○「広げ深める」場面では、友達と互いの気づきを共有したことで、共通点や差異点に気づき、気づきと気づきを関連付けたり、新たな気づきを見いだしたりすることができた。</p> <p>○「まとめあげる」場面では、OPP（ワンペーパーポートフォリオ）シートの活用により、児童は自分自身の思考を整理できただけでなく、自分自身の成長や認識の高まりを実感することができた。</p>

【生活科学習におけるめざす児童像（全体）】



1 単元名 春はっけん

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、学習指導要領の生活科の内容(1)(2)(4)(5)(6)(7)(8)(9)に関連するものである。

本単元では、1年時での活動をもとに、児童が新しいめあてをもって、1年生との交流や春の遊び、花や野菜の栽培、春の学区探検などの活動を行うことを通して、自分自身の成長を実感するとともに、学んだことを生かして、生活をより豊かにしていこうとすることができていることを目指している。本実践は、その中の内容(7)に特に関連するものである。

(7) 動物を飼ったり植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。

児童は1年時に、アサガオやカブの栽培をしてきた。アサガオでは、水やりや間引き、支柱立て、追肥などの世話をし、カブでは、同様の世話の他に、虫の駆除も経験している。小単元「ぐんぐんそだて！ぼく・わたしのやさい」では、1年時の栽培活動を振り返ってさらに栽培したいものを決め、これまでの経験を生かして夏野菜の栽培をしていく。そして、野菜の世話を通して、それらの変化や成長の様子を観察したり、適切な成育環境や世話の仕方について考え、働きかけたりしていく。これらの活動を通して、植物の特徴や適切な成育環境、世話の仕方、変化や成長の様子などに気付くとともに、生命の大切さに気付いたり、親しみをもち関わろうとしたりすることをねらいとしている。さらに、単元の終盤には、世話の仕方や自分と野菜との関わりを振り返ることで、野菜に対する心情の変容や、自分自身の成長に気付くことも目指している。

(2) 児童の実態（省略）

(3) 指導観

そこで、本単元を指導するにあたっては、本校の研究仮説との関わりから、以下の点に留意していきたい。

【表現活動の工夫】

- 野菜の成長過程の頃合いを見計らい、観察した様子をワークシートに言葉や絵で表現する。その際、諸感覚を使って観察することができるよう、五感カードを用いて視点を提示する。
- 観察の場面で現在の野菜の様子を記録したり、伝え合いの場面で実物に近い状態で伝えたりできるよう、タブレット型端末などの ICT 機器を活用する。
- 気付いたことや困ったことなど、多くの情報を整理し、解決の見通しをもつことができるよう、話し合いの際には思考ツールを用いる。
- 野菜を観察したり、世話をしたりする中で気付いたことを積み重ねていけるように、OPPシートを活用する。その際、表現方法は絵と言葉を選べるようにする。
- クイズ大会に向けて、多様な表現方法の中から出題内容に合ったものを選択して取り組めるよう、絵や言葉、動作、劇や紙芝居などの方法を提示する。

【学習活動の工夫】

- 友達との対話を通して気付きを共有したり、考えを深めたりできるよう、ペアやグループの友達と協力して野菜を育てていく。また、他のグループの様子にも気付けるよう、グループ同士の交流の機会を設ける。
- 愛着をもって野菜の世話をしたり、野菜が成長するためにどんなことが必要なのか気付くやすくしたりするため、育てる野菜に名前を付け、観察カードの中に野菜に語り掛ける言葉を記述する枠を設ける。
- 野菜の栽培で分からないことがあったら、本や図鑑を使ってすぐに調べられるよう、学級や学年内に関連図書コーナーを設置する。
- 他者との関わりを深めるため、ゲストティーチャーに質問する機会を設けたり、日常的に質問に行くことのできる環境を作ったりする。また、生活上必要な習慣や技能が身に付くよう、事前に手紙を書いてお願いする、事後にお礼の手紙を書くなどの活動を取り入れる。
- クイズ大会では、必要な世話と野菜の成長過程について、楽しみながら確認できるよう、それらに関連した内容を出題する。
- 収穫の喜びを実感できるよう、野菜を調理して味わう機会を設ける。感染症対策や家族との関わりを深める視点から、野菜を家庭に持ち帰り、家族と調理して味わったことをまとめたり、紹介したりする機会を設ける。
- 栽培活動を通じた自分自身の成長に気付いたり、今後の生活に生かしていく心情を確認したりすることができるよう、単元の終末には、できるようになったことや気付いたことなどを振り返り、伝え合う活動を取り入れる。

3 単元の目標

- ・ 1年生と関わる活動を通して、どうしたら1年生を楽しませることができるかを考えることができ、自分も周りの支えがあって進級できたことに気付くことができる。
(知識及び技能の基礎)
- ・ 校庭や通学路の春を探す活動を通して、冬との違いや春の町の様子について考えることができ、季節の変化や地域の施設・人々のことが分かり、それらを積極的に調べることができる。
(思考力、判断力、表現力等の基礎)
- ・ 栽培活動を通して、植物の成長に関心をもって働きかけることができ、育てている植物に合った世話の仕方があることに気付き、楽しみながら世話を続けようとする。
(学びに向かう力、人間性等)

4 指導と評価の計画 (29 時間扱い)

単 元「春はっけん」 総時数 29 時間

小単元「どんな2年生になろうかな」

5 時間

- ・ 2年生でがんばりたいことを絵や文でかき、伝え合う。 1
- ・ リモートなかよし会の計画を立て、準備する。 2
- ・ リモートなかよし会をする。 1
- ・ 楽しかったことなどを振り返り、伝え合う。 1

小単元「春のあそびはっけん」

3 時間

- ・ 校庭で見つけた春の様子を絵や文でかき、伝え合う。 2
- ・ 公園に出掛け、遊ぶ。 1

小单元「ぐんぐんそだて！ぼく・わたしのやさい」 15時間

時配	学習内容と学習活動	評価規準（観点）【方法】
1	○ 1年生での活動を想起し、育てたい野菜を決める。	・1年生での栽培活動を振り返り、育てたい野菜を決めている。（思考・判断・表現） 【ワークシート・発言分析】
2	○ 野菜の苗を植え、必要な世話について話し合う。	・野菜の苗を植え、必要な世話は何か、話し合っている。（思考・判断・表現） 【発言分析】
常時活動	○ 話し合いをもとに、野菜の世話を する。 (これ以降継続する。)	・話し合いをもとに、それぞれの野菜に合った世話をしている。（思考・判断・表現） 【行動観察・発言分析】
3	○ 野菜を観察し、改善したいことを話し合う。	・野菜の観察を通して改善したいことを見付け、話し合っている。（知識・技能） 【発言分析】
4	○ ゲストティーチャーにお願いの手紙を書く。	・ゲストティーチャーに手紙を書き、疑問点を改善しようとしている。（主体的に学習に取り組む態度） 【手紙・発言分析】
5	○ ゲストティーチャーに質問する。	・改善点について、ゲストティーチャーに進んで質問している。（主体的に学習に取り組む態度） 【行動観察・発言分析】
6	○ ゲストティーチャーの話をもとに、必要な世話について話し合う。	・ゲストティーチャーの話をもとに、必要な世話は何か、話し合っている。（思考・判断・表現） 【発言分析】
7	○ 野菜を観察し、世話のうまいところを話し合う。	・成長してきた野菜の観察を通して、よく育てているところを見付け、話し合っている。（知識・技能） 【行動観察・発言分析】
8 本時	○ 野菜を観察し、改善したいことを話し合う。	・成長してきた野菜の観察を通して改善したいことを見付け、話し合っている。（知識・技能） 【発言分析】
9・10	○ クイズ大会の準備をする。	・クイズ大会に向けて、成長過程や行ってきた世話をもとに、クイズを作成するなどの準備を進めている。（思考・判断・表現） 【行動観察・発言分析・作品】
11	○ クイズ大会をする。	・成長過程や行ってきた世話についてクイズを出し合い、必要な世話や成長過程を再認識している。（知識・技能） 【ワークシート・発言分析】
12	○ 家庭で実践した調理について、紹介し合う。	・収穫した野菜を家庭で調理して味わい、その経験を紹介している。（思考・判断・表現）

		【発言分析・ワークシート】
13	○ 1年生と、リモートで野菜クイズ大会をする。	<ul style="list-style-type: none"> 栽培した野菜について、友達と協力して、1年生にクイズを出題している。 (主体的に学習に取り組む態度) <p style="text-align: right;">【行動観察】</p>
14	○ ゲストティーチャーにお礼の手紙を書く。	<ul style="list-style-type: none"> ゲストティーチャーとの関わりを振り返り、自分の思いに合わせて表現している。 (主体的に学習に取り組む態度) <p style="text-align: right;">【手紙・発言分析】</p>
15	○ 野菜作りについて振り返り、思いや考えを交流する。	<ul style="list-style-type: none"> 野菜作りについて振り返り、考えたことやこれからどのように栽培活動と関わっていくか書いている。(主体的に学習に取り組む態度) <p style="text-align: right;">【ワークシート・発言分析】</p>

小単元「春の町はっけん」

6時間

- ・通学路で見つけた春やおすすめの場所を道カードにかく。 . . . 1
- ・道カードを大型地図に貼り、紹介し合う。 . . . 1
- ・通学路バーチャル探検をする。 . . . 2
- ・おすすめの方法について、さらに詳しくカードにかく。 . . . 1
- ・カードをもとに紹介し合う。 . . . 1

5 本時の指導 (8/15)

(1) 評価規準

成長してきた野菜の観察を通して改善したいことを見付け、話し合っている。

(知識・技能) 【行動観察・発言分析】

(2) 授業仮説

野菜の世話をする場面において、気付いたことや疑問点を思考ツールを用いて共有すれば、解決方法を導き出し、主体的に問題を解決することができるであろう。

(3) 展開

時配	指導過程	学習内容と学習活動	指導・支援 ○評価	資料
3	見 い だ す	1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習の見通しがもてるよう、前時までの活動を振り返る。 	前時の 掲示物
2	自 分 で 取 り 組 む	2 自分が育てている野菜の、うまくいかずに困っていることや、もっと良くしたいと思う「もっとポイント」について、付箋紙に書いたことを振り返る。 <ul style="list-style-type: none"> ・実がなったけど、形が変だな。 ・もっと実を大きくしたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> 野菜の様子を想起しやすいよう、観察カードを振り返るようになる。 この後のグループ活動で整理しやすいよう、付箋紙を活用する。 	観 察 カ ー ド 付 箋 紙 タ ブ レ ッ ト 型 端 末

<p>8</p> <p>10</p> <p>10</p> <p>5</p>	<p>広げ深める</p>	<p>3 グループのXチャートに付箋を貼り付けて、個人で考えた「もっとポイント」をグループで共有する。</p> <p>4 黒板の表に「もっとポイント」をまとめ、それぞれのグループの悩みを共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマトチームもキュウリチームも、倒れそうなのが気になっているんだね。 ・ナスチームは、実が大きくなって心配なんだね。 <p>5 全体で、解決方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくたちのグループは、支柱を2本立てたらうまくいったよ。 ・実を大きくする方法は、よく分からないから、ゲストティーチャーの鈴木さんに聞いたらどうかな。 <p>6 グループで、今後の世話について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もう一本支柱を貸してもらえないか、ゲストティーチャーの鈴木さんに聞いてみよう。 ・肥料をやった方がいいのかな。本で調べてみるね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理できるよう、同じ内容の付箋は重ねていく。 ・他のグループと共有できるよう、それぞれのグループから出た「もっとポイント」を表に整理する。 ・野菜の様子が視覚的に分かるよう、児童が撮影した写真を大型モニターに表示する。 ・他のグループの悩み事の解決策を考えられるよう、前時で整理した「ぐんぐんポイント」を参考にする。 ・グループで協力して世話ができるよう、全体で考えた解決方法をもとに、今後どのような世話をしていくか話し合う。 <p>○ 成長してきた野菜の観察を通して改善したいことを見付け、話し合っていたか。(知識・技能)</p> <p style="text-align: center;">【行動観察・発言分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付いたことや考えたことが表現できない児童には、観察カードや画像と一緒に見ながら問い掛け、言葉を引き出す。 	<p>Xチャート</p> <p>表 プロジェクター 大型モニター</p>
<p>7</p>	<p>まとめあげる</p>	<p>7 本時の活動を振り返り、次時への見通しをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の気づきをさらに自覚したり、自分自身への気づきへとつなげたりできるよう、OPPシートを用いて振り返るよう伝える。 	<p>OPPシート</p>

(4) 板書計画

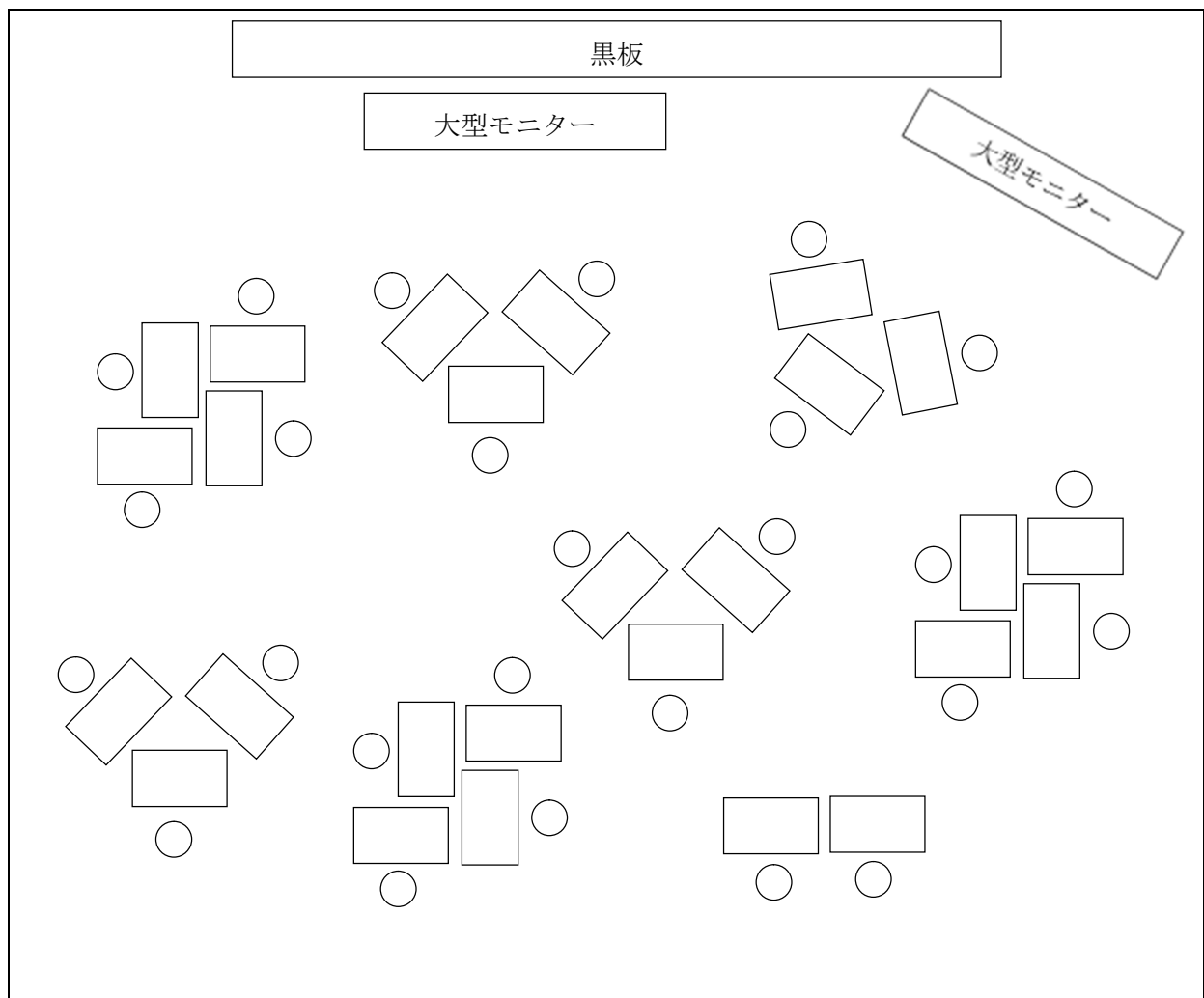
④もっとぐんぐん！
 そうだん会を
 開こう。

今日からどんな
 おせわをしよう
 かな。

	み	くき	は	おせわの しかた
ミニトマト				
ピーマン				
キュウリ				
ナス				

※表はプロジェクターで大きく表示し、エクセルで作成する。枠や内容は、児童の発表によって変動する。

(5) 場の設定



【「春はっけん（2年）」におけるめざす児童像】

